

学校経営推進費 評価報告書（最終）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	生徒のプレゼンテーションスキルの向上（教員による要素別評価、10点満点） 教員の授業変革（創意工夫）による、生徒の授業満足度の向上（授業アンケート等にて測定） 連携による、企業（組合）の満足度の向上（企業へのアンケート、求人数、就職率等にて測定）
計画名	「ものづくり現場のリーダー素養」育成プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	A 中核教育活動施策 （1）分ける授業、充実した授業の推進 専門系や教科の枠組を超えたフィードバックの場を形成する取組みを通じて授業力向上を図り、クラス内の多様な生徒個々の学力差に応じて指導の改善を図る。 C アウトプット対象対策 （5）地元企業との連携の充実 工科高校重点化の取組みとして、ものづくり企業が集積している東大阪・八尾地域を中心に一層の企業連携を図り、出前授業やインターンシップを活用したキャリア教育・職業教育の充実を図る。
事業目標	工業・工科高校である本校生徒は、ものづくりにおける作業技能の向上には着実な成果が見られるが、企業において今後強く期待されるのは、そのものづくりのノウハウや素晴らしさを上手に伝え、相手の行動が促される表現力である。さらに日本のものづくりの強さの源泉はチーム力であり、その鍵はチームメンバーの知見や経験を活かした改善であり、そのためにも要点をまとめ効果的に伝える力が重要である。本校ではこのような企業ニーズに合致した人財の卵を輩出すべく、①クラスにおいて生徒のグループワークでの意見を集約する力と伝える力の練磨 ②ラーズ・プレゼンテーションルームにおいて、3系それぞれが他の系の生徒に対して行うクロス・プレゼンテーションで気づきの誘発と相互フィードバック ③さらに、聴衆をPTA、中学、地域にまで拡大して、自らのプレゼンテーションがどのようなリアクションを生むかによってのブラッシュアップ 等でのものづくり現場のリーダー素養を育成する。 一方、企業（組合）から来校いただき行われる出前授業や講演会を積極的に誘致し、生徒にとって様々な職種の業務体験を可能として、就職可能性を拡大する。と同時に、その様子を動画に収録し動画投稿サイトで発信することにより、企業組合からすれば社会貢献としてとらえられ、Win-Winの関係強化となり企業連携が加速することが見込まれる。その結果、本校生徒へのインターンシップや求人数増加に結びつくことが期待される。 そして何よりもグループワークに関する校内研修や研究協議を行える環境の形成は、教員同士の活発な意見交換や実践が授業変革・改善につながり、それが教員自身の高い肯定感となって、生徒に還元される。
整備した 設備・物品	会議室：プロジェクター・電動スクリーン・液晶テレビ（2台）・音響関連・AV制御システム 教室（16クラス）：液晶プロジェクター（16クラス）・接続コンセントボックス
取組みの 主担・実施者	首席、首席、首席
本年度の 取組内容	本プロジェクトも3年目となり、各項目についての取組みが定着してきた。 ①授業内でグループワークを取り入れる教員が増加した。その大きな要因が教室でプロジェクターを活用できることにある。また、生徒もグループワーク内で自然と自分の意見が言えるようになり、習熟度も向上した。 ②プレゼンテーションを行う機会が増えた。 ・学校内では、プレゼンテーションルームを利用した「インターンシップ発表会」や「課題研究発表会」を実施した。 ・校外では「大阪産業教育フェア」や「東大阪モノづくり体験塾」等で本校生徒が発表を行い好評を得た。 ③プレゼンテーション評価シートを作成した。さらに改良を加え、より客観的で精度の高い評価を行えるようにした。 ④プレゼンテーションルームを活用することで、企業からの出前授業や電気工事士協会によるテーブルセミナー等を行える環境が整い、企業からの要望にも応えられるようになった。
成果の検証方法 と評価指標	（1）生徒アンケート：出前授業・キャリア講演会の効果で対前年比10%改善 （2）教員による生徒のプレゼンテーションスキル評価：8点（10点満点） （3）本校教員で、年5回以上プロジェクターを用いた授業の実施割合：60% （4）本校教員でグループワークを用いた授業展開の実施割合：40% （5）出前授業の実施回数：10回・講演会の実施回数：10回及びその際の企業（組合）満足度：4.00以上（5点満点） （6）就職率：100%、 （7）求人数：対前年比10%増、 （8）離職率：対前年比3%減
自己評価	（1）生徒アンケート：出前授業・キャリア講演会の効果で対前年比5.5%向上（目標10%改善）＜△＞ ・学校教育自己診断の生徒による回答で「あてはまる」と答えた割合 1. 「学校は就職・進学に関する情報を十分に知らせてくれている」：78%（前年度74%） 5.4%増 2. 「学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている」：75%（前年度71%） 5.6%増 （2）生徒のプレゼンテーションスキル向上＜◎＞ ・教員による生徒のプレゼンテーションスキル評価：8.1点（目標：10点満点中8点） ・今年度、生徒のによる発表機会 「大阪府産業教育フェア」「学校説明会」「インターンシップ説明会」「課題研究発表会」 「大阪府産業調査研究会 工業部会」「東大阪モノづくり体験塾」「資格検定成果発表会」 （3）本校教員で、年10回以上プロジェクターを用いた授業の実施割合：71%（目標：60%）＜◎＞ （4）本校教員でグループワークを用いた授業展開の実施割合：48.3%（目標40%）＜◎＞ ・内訳 ペアワーク：8.6%、グループワーク：36.2%、その他：3.4% ・学校教育自己診断の生徒による回答で授業に関する質問に「あてはまる」と答えた割合：昨年度より5.5%増 1. 「授業は良く分かる」：54%（前年度53%） 2. 「先生は教え方に様々な工夫をしている」：62%（前年度57%） （5）本事業の設備を活用した出前授業の実施回数：9回、講演会の実施回数：5回＜◎＞ その際の企業（組合）満足度：4.5（目標：4以上）＜◎＞ ・マイスター事業等を活用した専門系への出前授業（9回）／その他進路に関する講座（3回）／教員研修等（2回） （6）就職率：100% ＜◎＞ （7）求人数：1150（平成28年度：941）（前年比22%増）＜◎＞（目標10%増） （8）3年後の離職率調査：前年度の調査より離職者の割合が9.3%減＜◎＞（目標：前年度費3%減）

<p>事業のまとめ</p>	<p>「ものづくり現場のリーダー素養」育成プロジェクト 本事業において環境整備した教室のプロジェクター及びラージプレゼンテーションルームを活用することで、以下の事業目標を達成することができた。</p> <p>①授業内でグループワークを実施する割合が、10%から48.3%に向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の成果として、本校の約半分の教員が授業にGWを取り入れていることで、生徒の主体性や対話性を向上させる事が出来た。 ・授業内で、生徒同士がプレゼンテーションを行い自分達の考えを発表する力がついた。また生徒同士でプレゼンテーション評価も行った。 ・授業力向上研修を本事業の1～2年目に実施し、授業で新しいことに挑戦している教員同士の学びの場を作った。3年目は、それぞれの教員が実践していき、授業コンテンツの共有も図りながら、より良い授業づくりのペースを築く事が出来た。 <p>②-1 ラージプレゼンテーションルーム等で実施した生徒の発表回数は50回。発表することが当然となってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内で実施している課題研究発表会やPTAへの成果発表会が活性化した。(40回) (生徒がチームで準備し臨んでいてQualityが向上。保護者からの高評価) ・ラージプレゼンテーションルームの導入により外部からの受け入れがスムーズとなった。企業・業界団体へのプレゼンテーション・テーブルセミナー等(10回) ・様々な場面で生徒の発表機会が増え、その回数分の成長を実感している。 <p>②-2 プレゼンテーション評価シートを作成し、生徒のプレゼンテーションの評価を行う(平均8.1点/10点満点)。</p> <p>③学校外でのプレゼンテーション回数(10回)。高評価を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校で身に付いた生徒のプレゼンテーション能力は、地域・企業、学校関係の発表会において、非常に大きな評価を得ている。 ・小学生対象のものづくり体験教室を3年連続で開催し、高校生が小学生に作り方を説明し、ものづくりの楽しさを伝える場となっている。 <p>④H27年度からH29年度までの学校教育自己診断の結果の推移より、生徒による教員の授業評価の数値が上がっている(平均で8%上昇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業は良く分かる」：46%から54%に向上した。 ・「先生は教え方に様々な工夫をしている」：54%から62%に向上した。
----------------------	---